



狭いが高い展示台による展示。
コンパクトにまとまり一体感があり、
見やすい高さで急須の繊細さが
伝わった。
しかしまとまった置き方をしている
ため個々の特徴が薄れてしまった。

急須

急須というのは他の器、茶碗や湯呑みと違い「性能」という概念のはっきりしたプロダクトである。そのため急須をデザイン、制作するということは「お茶」という第三者的ポジションまでもをデザイン、制作すること、それが可能だということの意味し、形状以外の部分にも存在する急須一つ一つの個性、オリジナリティの強さが現れる。

普段あまり焦点を当てられることのない急須という「うつわ」の良さ、面白さを見て、そこから生まれるお茶にも意識を向けていただきたい。その思いで今回、形状的デザインのみならず内部構造にもこだわり、性能も個別にデザインした8つの急須を製作した。

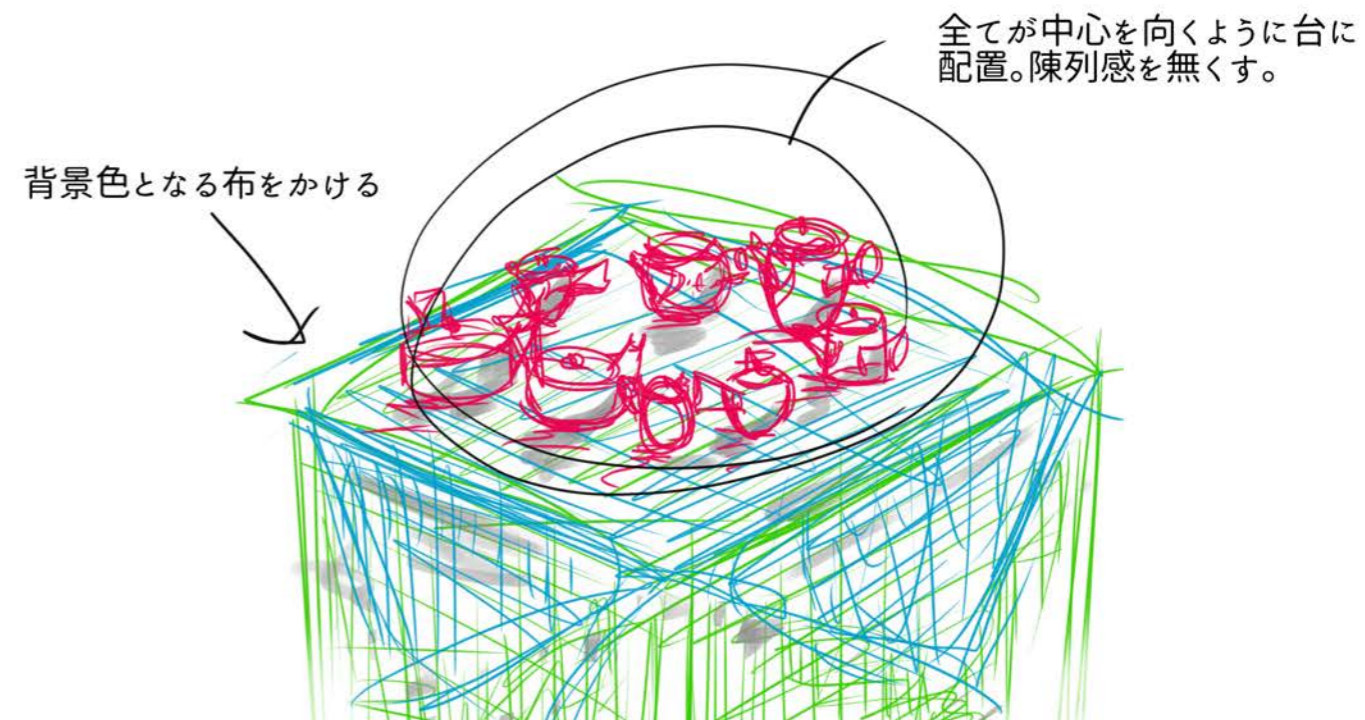
Piyo 個 星野佑太

器に宿るUnique

出品番号29

平成29年度
埼玉県立美術系高等学校
卒業製作展

広いが低い展示台による展示。
並べ方に余裕がありうまく「個」
を表現でき、低い展示台を見下
ろす形のためそれぞれの違いを
俯瞰的にみることができた。
ただし近くでは見づらいため急須
の細かい部分は見づらい印象
だった。



会場では、作品を見てくださった方々は急須それぞれの造りを見てくださり、「綺麗だね」「使いやすそう」と言ってくださり製作のモチベーションになり、特に「使いたい」という声が嬉しかった。
人に使いたいと思っていただけるとような使いよいものを作ることを目標としているため、この言葉が聞けたことが今回最大の収穫だったと言える。